

2021年（令和3年）7月30日

第1回（仮称）子ども未来館基本構想市民懇話会

・日時 2021年（令和3年）7月30日（金）19：00～20：30

・場所 まなびの館ローズコム 大会議室

■次第

1. 開会

2. アイスブレイク

（1）名札づくり

（2）グループ内自己紹介

3. 趣旨説明・資料説明

4. プログラム

（1）「こんな子ども未来館は嫌だ」を考えてみよう

（2）ひっくり返して考えてみよう

（3）ポジティブに捉えなおしてみよう

（4）まとめ

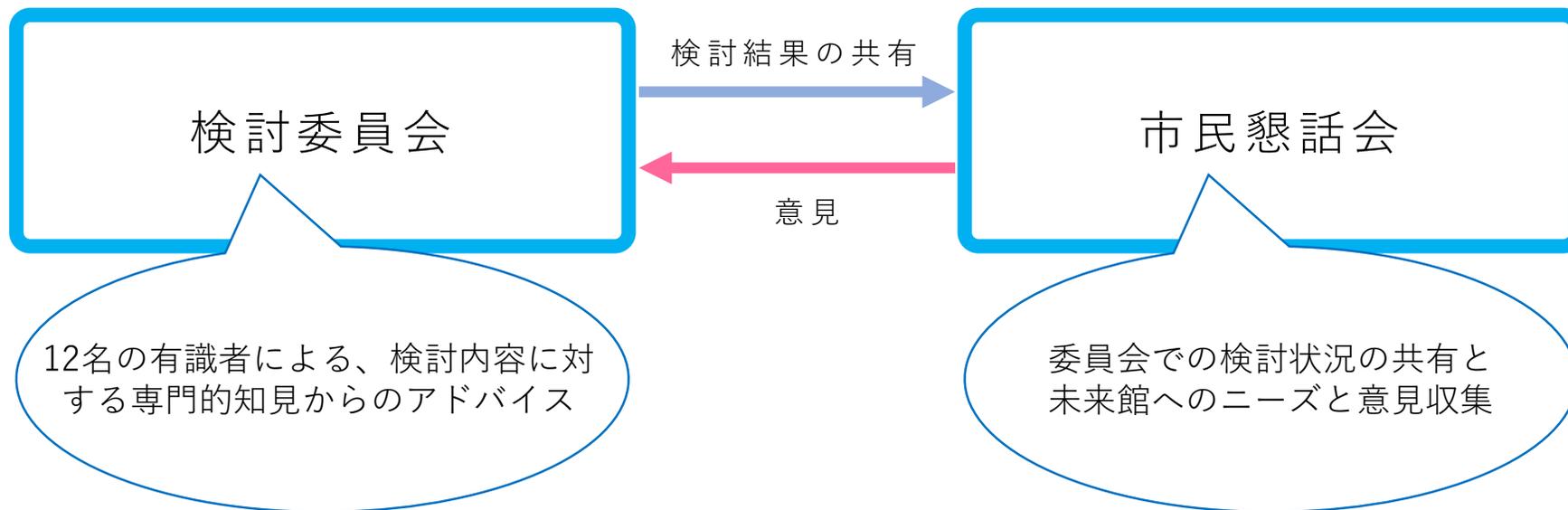
5. ご連絡

6. 閉会

■配布資料：

- ・基本構想づくりに向けた検討体制について
- ・ミッションシートまとめ
- ・ワークシート&アンケート

2021年度3回の市民懇話会を実施します。
 2021年8月 2021年10月（予定） 2022年2月（予定）



第二回検討委員会の協議事項へ反映

● 第二回検討委員会協議事項（予定）

- 子ども未来館の基本理念・基本理念（コンセプト）案
- 子ども未来館の基本機能・基本機能（例：展示、教育普及、市民の活動の場、等）案
- ターゲットと利用想定・メインターゲットの設定と多様なターゲットの利活用想定
- テーマ設定取り扱うテーマ案（例：宇宙、生命、暮らし、自然、、等の科学をベースにした切り口を提示）

—現状調査結果—

調査1：全国の動向

- 全国的な人口の動向
→少子高齢化の加速
- 全国的な理科教育についての現状
→学年が上がるごとの理科分野と生活の乖離
- 近年の理科教育の潮流
→STEAM教育など新しい教育理念の浸透

調査2：福山市の現状・課題

- 福山市における人口の動向
→少子高齢化と人口減少
- 福山市の地勢について
→科学館施設が近隣にない
- 福山市の教育の取り組み
→イェナプランなどの先進的取組
- 福山市の産業について
→ものづくり企業の集積

調査3：近年の科学館の潮流

- ターゲットの拡大
→大人までをターゲットにした施設の増加
- 施設目的の多様化
→「理科」のみならず幅広い分野を学べる
ことが求められている。

—昨年度の検討成果—

- 未来館で身につくスキル・感性に関する意見
 - ・ 自ら課題を発見し解決できる能力
 - ・ 個人の尊重や成功体験の積み重ねによる自己肯定感
 - ・ 常識にとらわれないアイデアを生み出す力・企画力
- ターゲットに関する意見
 - ・ 小学生～中学生
 - ・ ターゲットは若者。メインターゲットは、いろいろな意見をしがらみなく吸収できる小・中学生。

—施設のミッション—

1. 未来づくり 2. 人材育成 3. 科学を好きになる 4. 交流促進 5. 地域の魅力訴求

—場のあり方—

次代を担う子どもたちが最新の科学やテクノロジーに触れ、
楽しく学び、そして成長していく場

—第一回検討委員会での意見—

- ・ 未来の人材を育成する上では自己肯定感を感じられるようなプログラムを実施すべき
- ・ ハードよりソフトを重視すべきであり更新性を意識すべき
- ・ SDGsのような社会課題に関わるテーマも取り扱うと良い
- ・ アートの視点も取り入れたらいいと思う
- ・ クリエイティブな人が集まるまちになると良い
- ・ 企業や施設、大学など既存の資源・資産を積極的に活用したほうが良い。館外との連携や交流が重要